

## 向瀬 杜子春 【むこせ・としはる】

福井県武生市(現越前市)出身。福井県立武生高等学校卒業後、1970年に日本大学芸術学部演劇学科に入学、演出を専攻。在学中より舞台演出家・放送作家・イベントプロデューサーとして活躍していた塚田茂に師事。

現在はフリーの企画・構成作家としてテレビ番組、舞台の企画・構成に携わっている。

(主な番組「日本名曲アルバム」BS-TBS火曜よる7時から「SONG TO SOUL」BS-TBS日曜よる11時から)

構成作家の傍ら、2004年から毎年インドを訪れ、インドの先住民・サンタル族の子どもたちの成長と暮らしを撮り続けている。第21回日仏現代国際美術展(主催:サロン・ブラン美術協会)に応募したサンタルの子どもたちの作品で、サロン・ブラン会長賞を受賞した。

14年間の記録をまとめた写真集「シャンティニケタン 平和郷の子どもたち」が、2017年11月に出版された。

### 写真集

「サンタリークリクリラ サンタルの子どもたち」

(私家版2012年4月出版)

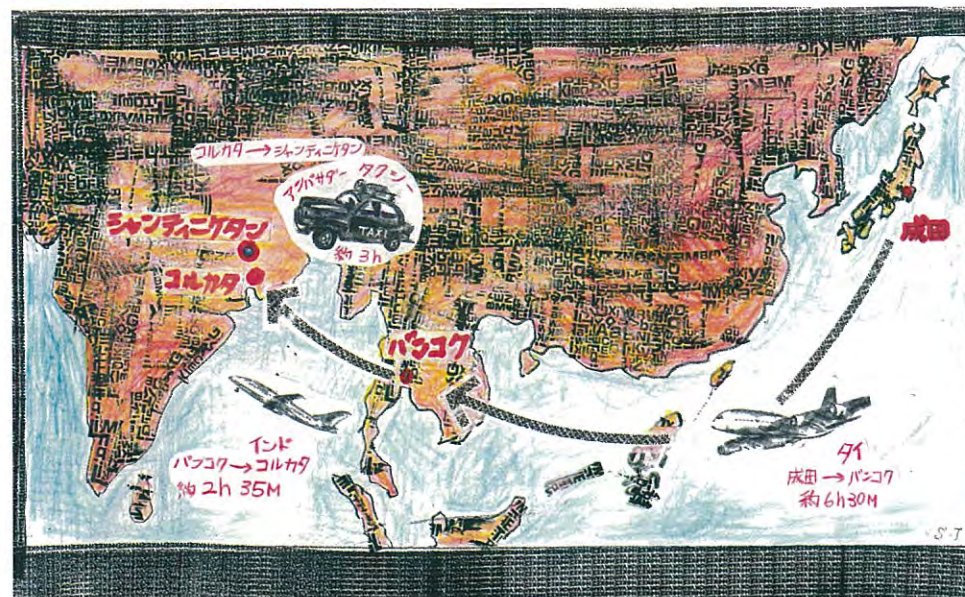
「シャンティニケタン 平和郷の子どもたち インド先住民サンタル族との出会いの軌跡」

(発行・七月堂 2017年11月3日出版)





## 写真は インドの先住民 サンタル族の 子どもたちです



### 子どもたちが暮らすシャンティニケタンってどんな町？

日本から飛行機と車を乗りついで最短で約15時間、直線距離で約5300km、インドの東・広大なベンガル大平原にあるのがシャンティニケタンです。

シャンティニケタンのシャンティは「平和」、ニケタンは「家」を意味しています。この平和の家・町を作り上げたのは、アジア人で初めてノーベル賞を受賞したラビンドラ ナール・タゴールです。

町にはタゴールが創設した大学があり、海外からの留学生も多く、日本語学部では日本語や伝統文化を学ぶ学生もいます。シャンティニケタンは、学園都市です。

そんなシャンティニケタンの郊外に暮らしているのが、インドの先住民で少数民族のサンタルの人たちです。

写真に写っているのは、そのサンタル族と周辺の子どもたちです。





## 西 英一 【にし・えいいち】

東京都出身。横浜国立大学工学部建築学科卒業。グラフィックデザイナーとして、多くの雑誌、書籍、広告、DVDやCDジャケットのデザインを手がける。

2004年よりニューヨークを拠点にシルクスクリーンによる作品を発表。

現在は仕事の傍ら、様々なアート作品を制作し、新宿ゴールデン街などで個展を開いている。

当院の田辺院長とは高校の同級生。

2006年ニューアーク国際版画コンクール入選。



### 病院deART

**外来待合スペースを活用し、プロ写真家の作品や地域の方々の作品を展示します。**

入院患者さんや外来の患者さんに良質なアートに触れていただき、気分をリフレッシュしていただこうと2017年11月27日から外来スペースに作品閲覧用ショウケースを設置致しました。

今後定期的に作品を展示する予定ですので、ぜひご覧いただきたく思います。

作品にご興味や購入をお考えの方は  
こちらへメールください。

